

安全データシート

according to Regulation (EC) No.1907/2006 (REACH), amended by COMMISSION REGULATION (EU) 2020/878

製品名 : 汎用溶剤

改訂日 : 2025/07/10

SDS 番号 : 2025_General_Solvent_EU_J-2

Date previous version : 2025/07/01

改訂番号 : 2

Previous version : 1

1. 化学品及び会社情報**1.1 化学品の名称 :**

製品名称 : 汎用溶剤

製品番号 (SDS NO) : 2025_General_Solvent_EU_J-2

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 工業用

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 株式会社アサヒグラフィック

住所 : 150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-23-8 KOHGA ビル 3F

電話番号 : 03-6878-8985

FAX : 03-5424-3018

1.4 緊急連絡先電話 : 03-6878-8985**2. 危険有害性の要約**

化学品の GHS 分類、GHS ラベル要素

2.1 GHS 分類

Regulation (EC) No.1272/2008 [CLP]に基づく分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

生殖細胞変異原性: 区分 1B

発がん性: 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

誤えん有害性: 区分 1

環境有害性

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

(注) 記載なき GHS 分類区分: 区分に該当しない/分類できない

2.2 GHS ラベル要素

Regulation (EC) No.1272/2008 [CLP]に基づくラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

H226 引火性液体及び蒸気

H315 皮膚刺激

H319 強い眼刺激

H340 遺伝性疾患のおそれ

H350 発がんのおそれ

H335 呼吸器への刺激のおそれ

H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地しアースをとること。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
P261 ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

- P370 + P378 火災の場合：指定された消火剤を使用すること。
P391 漏出物を回収すること。
P321 特別な処置が必要である。
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
P331 無理に吐かせないこと。
P301 + P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

保管

- P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 施錠して保管すること。

廃棄

- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

2.3 その他の有害性

- この製品は PBT、vPvB に該当する成分を含まない。
この製品は内分泌かく乱性物質を含まない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

3.2 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)
Classification according to REGULATION (EC) No.1272/2008 [CLP]	EC No.	
芳香族ナフサ	64742-95-6	55 - 60
Carc. 1B, H350; Muta. 1B, H340; Asp. Tox. 1, H304 [SCL's, M-Factors, ATE, Component notes] note:[P]	265-199-0	
1,2,4-トリメチルベンゼン	95-63-6	15 - 20
Flam. Liq. 3, H226; Acute Tox. 4 *, H332; STOT SE 3, H335; Skin Irrit. 2, H315; Eye Irrit. 2, H319; Aquatic Chronic 2, H411	202-436-9	
1,3,5-トリメチルベンゼン	108-67-8	5 - 10
Flam. Liq. 3, H226; STOT SE 3, H335; Aquatic Chronic 2, H411 [SCL's, M-Factors, ATE, Component notes] STOT SE 3; H335: C >= 25 %	203-604-4	
キシレン(異性体混合物)	1330-20-7	5 - 10
Flam. Liq. 3, H226; Acute Tox. 4 *, H332; Acute Tox. 4 *, H312; Skin Irrit. 2, H315 [SCL's, M-Factors, ATE, Component notes] *;note:[C]	215-535-7	
エチルベンゼン	100-41-4	5 - 10
Flam. Liq. 2, H225; Acute Tox. 4 *, H332; Asp. Tox. 1, H304; STOT RE 2, H373 (hearing organs)	202-849-4	
クメン	98-82-8	1 - 5
Flam. Liq. 3, H226; Carc. 1B, H350; Asp. Tox. 1, H304; STOT SE 3, H335; Aquatic Chronic 2, H411	202-704-5	

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

REACH 規則 SVHC 候補リスト掲載物質を含まない。

分類と危険有害性情報の全文: セクション 16 を参照

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(吸入もしくは飲み込んだ場合の症状)

吐き気、頭痛、眠気(嗜眠)、咳、眩暈、咽頭痛、錯乱

(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)

皮膚の乾燥、結膜発赤

4.3 医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

5.2 特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

蒸気は空気と爆発性の混合物を形成するおそれがある。

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護する。

消火水の下水への流入を防ぐ。

安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。

消火作業は、可能な限り風上から行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

関係者以外は近づけない。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。

二次災害の防止策

- 漏出物を回収すること。
- 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- 安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。
- 全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
- 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報

- 第 8 章参照
- 第 13 章参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

(火災・爆発の防止)

- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を接地しアースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。

(局所排気、全体換気)

- 排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

- 皮膚に触れないようにする。
- 眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

- 強酸化性物質との接触を避けること。

衛生対策

- 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 取扱い後はよく手を洗う。

7.2 保管

安全な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
- 施錠して保管すること。

(避けるべき保管条件)

- 高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

安全な容器包装材料データなし

7.3 特定の最終用途

特定の最終用途に関する情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

許容濃度

ACGIH

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影響)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影響)

(キシレン(異性体混合物))

TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激; 血液学的影響; 聴覚毒性; 中枢神経系障害)

(エチルベンゼン)

TWA: 20ppm (上気道及び眼刺激; 聴覚毒性; 腎臓影響; 中枢神経系障害)

(クメン)

TWA: 5ppm (上気道腺腫; 神経学的影響)

特記事項

(キシレン(異性体混合物))

聴力障害

(エチルベンゼン)

聴力障害

EU 作業環境許容濃度(EU 指令 91/332/EEC~2019/1831/EU に準拠)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

LTEL: 100mg/m³; 20ppm

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

STEL: 100mg/m³; 20ppm

(キシレン(異性体混合物))

LTEL: (Pure) 221mg/m³; 50ppm

STEL: (Pure) 442mg/m³; 100ppm (皮膚吸収)

(エチルベンゼン)

LTEL: 442mg/m³; 100ppm

STEL: 884mg/m³; 200ppm (皮膚吸収)

(クメン)

LTEL: 50mg/m³; 10ppm

STEL: 250mg/m³; 50ppm (皮膚吸収)

導出無影響量(DNEL)

利用可能な DNEL データなし

予測無影響濃度(PNEC)

利用可能な PNEC データなし

8.2 ばく露防止

設備対策

全体換気装置又は局所排気設備を設置した場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

化学防護手袋 推奨材質: 不浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質**9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報**

物理状態：液体

色：無色

臭い：石油臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点：130℃

沸点範囲データなし

可燃性：引火性

爆発下限及び爆発上限/可燃限界：

爆発下限：0.6vol %

爆発上限：7vol %

引火点：39℃(密閉式)

自然発火点：432℃

分解温度データなし

pH データなし

動粘度：20.1mPa・s(20℃)

動粘性率：17.5mm²/s(40℃)

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度：0.88(20℃)

相対ガス密度(空気=1)：4.1

粒子特性：適用外

9.2 その他のデータ

その他のデータなし

10. 安定性及び反応性**10.1 反応性**

反応性データなし

10.2 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性

蒸気は引火して爆発するおそれがある。

10.4 避けるべき条件

高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

10.5 混触危険物質

強酸化性物質

10.6 危険有害な分解生成物

熱分解により以下の物質を生成する。

炭素酸化物

11. 有害性情報

本製品は毒性試験を実施していない。成分の利用可能なデータを参照ください。

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

急性毒性(経皮)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[CLP 規則 附属書 VI 表 3]

(キシレン(異性体混合物))

区分 4

急性毒性(吸入)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[CLP 規則 附属書 VI 表 3]

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

区分 4

(キシレン(異性体混合物))

区分 4

(エチルベンゼン)

区分 4

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[成分データ]

[CLP 規則 附属書 VI 表 3]

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

区分 2

(キシレン(異性体混合物))

区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[成分データ]

[CLP 規則 附属書 VI 表 3]

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

区分 2

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

皮膚感受性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

生殖細胞変異原性

[製品]

区分 1B, 遺伝性疾患のおそれ

[成分データ]

[CLP 規則 附属書 VI 表 3]

(芳香族ナフサ)

区分 1B

発がん性

[製品]

区分 1B, 発がんのおそれ

[成分データ]

[CLP 規則 附属書 VI 表 3]

(芳香族ナフサ)

区分 1B

(クメン)

区分 1B

[IARC]

(キシレン(異性体混合物))

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(エチルベンゼン)

Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(クメン)

Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

[ACGIH]

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

A4: ヒト発がん性因子として分類できない

(キシレン(異性体混合物))

A4: ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

A3: 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(クメン)

A3: 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

生殖毒性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

[成分データ]

[CLP 規則 附属書 VI 表 3]

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

区分 3 (気道刺激性)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

区分 3 (気道刺激性)

(クメン)

区分 3 (気道刺激性)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[CLP 規則 附属書 VI 表 3]

(エチルベンゼン)

区分 2 (聴覚器官)

誤えん有害性

[製品]

区分 1, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

[成分データ]

[CLP 規則 附属書 VI 表 3]

(芳香族ナフサ)

区分 1

(エチルベンゼン)

区分 1

(クメン)

区分 1

11.2 その他情報

内分泌かく乱特性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

12. 環境影響情報

本製品は生態毒性試験を実施していない。成分の利用可能なデータを参照ください。

12.1 生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性

[成分データ]

水生環境有害性 長期(慢性)

[CLP 規則 附属書 VI 表 3]

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

区分 2

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

区分 2

(クメン)

区分 2

水溶解度

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (出典: ICSC, 2002)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (出典: ICSC, 2002)

(エチルベンゼン)

0.015 g/100 mL (20°C) (出典: ICSC, 2007)

(クメン)

非常に溶けにくい (0.02 g/100 mL, 20°C) (出典: ICSC, 2014)

12.2 残留性・分解性

[成分データ]

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

急速分解性なし (分解度: 8.7% (by BOD)) (出典: NITE)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

急速分解性なし (分解度: 0% (by BOD)) (出典: NITE)

(キシレン(異性体混合物))

急速分解性なし (分解度: 39% (by BOD)) (出典: NITE)

(エチルベンゼン)

急速分解性なし (分解度: 0% (by BOD)) (出典: NITE)

(クメン)

急速分解性なし (分解度: 13%) (84/449/EEC) (出典: NITE)

12.3 生体蓄積性

[成分データ]

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

log Pow: 3.8 (出典: ICSC, 2002)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

log Pow: 3.42 (出典: ICSC, 2002)

(キシレン(異性体混合物))

log Pow: 3.16 (出典: NITE)

(エチルベンゼン)

log Pow: 3.1 (出典: ICSC, 2007)

(クメン)

log Pow: 3.66 (出典: NITE)

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

12.5 PBT 及び vPvB に関する評価結果

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

12.6 内分泌かく乱特性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

12.7 他の有害影響

PMT 及び vPvM に関する評価結果

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

13.1 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 国連番号または ID 番号：1268

14.2 正式輸送名：

石油蒸留物、N.O.S.又は石油製品、N.O.S.

14.3 分類または区分：3

14.4 容器等級：III

指針番号：128

特別規定番号：223

ADR (欧州危険物国際道路輸送協定)

14.1 国連番号または ID 番号：1268

14.2 正式輸送名：

石油蒸留物、N.O.S.又は石油製品、N.O.S.

14.3 分類または区分：3

ラベル(Label)：3

14.4 容器等級：III

特別規定：664

ADN (危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定)

14.1 国連番号または ID 番号：1268

14.2 正式輸送名：

石油蒸留物、N.O.S.又は石油製品、N.O.S.

14.3 分類または区分：3

ラベル(Label)：3

14.4 容器等級：III

RID (欧州危険物国際鉄道輸送規則)

14.1 国連番号または ID 番号：1268

14.2 正式輸送名：

石油蒸留物、N.O.S.又は石油製品、N.O.S.

14.3 分類または区分：3

ラベル(Label)：3

14.4 容器等級：III

IMDG Code (国際海上危険物規程)

- 14.1 国連番号または ID 番号：1268
- 14.2 正式輸送名：
石油蒸留物、N.O.S.又は石油製品、N.O.S.
- 14.3 分類または区分：3
- 14.4 容器等級：III
- 特別規定番号：223; 955

IATA (航空危険物規則書)

- 14.1 国連番号または ID 番号：1268
- 14.2 正式輸送名：
石油蒸留物、N.O.S.又は石油製品、N.O.S.
- 14.3 分類または区分：3
- 危険性ラベル：Flamm. liquid
- 14.4 容器等級：III
- 特別規定番号：A3

14.5 環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）：該当

14.6 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

14.7 IMO 規則に従うばら積み海上輸送

本品はバルク輸送されない。

15. 適用法令**15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令**

REACH 規則 SVHC 候補リスト掲載物質を含まない。

記載する事項なし。

適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制を遵守してください。

15.2 化学物質安全性評価

本製品の安全な取り扱いに関しては、本 SDS の第 7 章および第 8 章を参照して下さい。

16. その他の情報**GHS 分類区分**

- 引火性液体 区分 3:H226 引火性液体及び蒸気
- 皮膚腐食性/刺激性 区分 2:H315 皮膚刺激
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2:H319 強い眼刺激
- 生殖細胞変異原性 区分 1B:H340 遺伝性疾患のおそれ
- 発がん性 区分 1B:H350 発がんのおそれ
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3:H335 (気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ
- 誤えん有害性 区分 1:H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- 水生環境有害性 長期(慢性) 区分 2:H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

3 章においてのみ、言及された分類区分及び危険有害性情報の全文

- Flam. Liq. 2, H225 – 引火性液体 区分 2:H225 引火性の高い液体及び蒸気
- Acute Tox. 4, H312 – 急性毒性 区分 4:H312 皮膚に接触すると有害
- Acute Tox. 4, H332 – 急性毒性 区分 4:H332 吸入すると有害
- STOT RE 2, H373 – 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2:H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第 66 版 (2025 年)
ADR (2025), ADN (2025), RID (2025)
EU REGULATION (EC) No. 1272/2008 (CLP), amended by COMMISSION DELEGATED REGULATION (EU) 2023/1434
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

略称および頭字語

ACGIH - 米国産業衛生専門家会議; ADN - 危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定; AD R - 欧州危険物国際道路輸送協定; ATE - 急性毒性推定値; BCF - 生物濃縮係数; BOD - 生物化学的酸素要求量; Cat. - 区分; Ceiling-C - 作業暴露のいかなる場合においても超えてはならない濃度; CLP - 化学品の分類、表示、包装に関する規則(EC) No 1272/2008; COD - 化学的酸素要求量; DSEN - 皮膚感作性; EC No. - 欧州共同体番号; EC50 - 半数影響濃度; EU - 欧州連合; GHS - 化学品の分類および表示に関する世界調和システム; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC Code - 国際バルクケミカルコード; IMDG Code - 国際海上危険物規程; LC50 - 半数致死濃度; LD50 - 半数致死量; logPow - n-オクタノール/水分配係数; LTEL - 8 時間時間荷重平均濃度; MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; M-factor - 毒性乗率; NOEC - 無影響濃度; NTP - 米国国家毒性計画; PBT - 難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質; REACH - 化学品の登録、評価、認可および制限に関する欧州議会および理事会規則(EC) No 1907/2006; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; RSEN - 呼吸器感作性; SCL - 特定濃度限界; Skin - 経皮吸収の危険性; STEL - 短時間ばく露限界; STOT - 特定標的臓器毒性; SVHC - 高懸念物質; TWA - 時間加重平均; UN - 国際連合; vPvB - 極めて難分解性、高い生体蓄積性を有する物質; CNS - central nervous system; eff - effects; impair - impairment; irr - irritation; OTO - Ototoxicant; URT - upper respiratory tract

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における EU 公表データ (Consolidated version of the CLP Regulation published in 01/12/2023 and Commission delegated regulation (EU) 2024/197 (ATP21))です。